平成30年度 八代高等学校シラバス

教 科	理科	科目	物理基礎	学 年	2	類型	理系
単位数	2	教科書	新編 物理基礎(数	(研出版)			
副教材	物理基礎研究ノート(博洋社)						

学習目標

物理的な事物・現象に関する観察・実験などを通して、探究する能力や態度を高めるとと もに、日常生活との関わりについて考察し、自然に対する見方や考え方を培い、論理的思 考力・課題解決能力を養う。

22 世	公司中卒	学習の到達目標		到達度自己評価	
学期	学習内容	(完全に理解すべき事項)	A B	$\mathbf{C}$	
1 学 期	第5編 物理学と社会				
	第1章 エネルギーの	◎エネルギー変換、発電、放射線			
	利用				
	第2章 物理学が拓く	◎摩擦のコントロール, エネルギーの有効利用(ヒー			
	世界	トポンプ・LED 電球),超音波検査,X線検査			
	第4編 電気				
	第1章 物質と電気抵抗	◎静電気,電気回路,オームの法則,電気エネルギー			
	第2章 磁場と交流	◎磁石, 交流, 変圧器, 電磁波			
	第3編 波				
	第1章 波の性質	◎波の基本式,横波・縦波,重ね合わせの原理,自由			
		端反射・固定端反射,			
	第2章 音	◎音の性質, 共振・共鳴・うなり			
	第2編 熱				
	第1章 熱とエネルギー	◎熱量の保存,熱力学第一法則,熱機関			
	第1編 運動とエネルギー				
2	第1章 運動の表し方	◎速度,加速度,相対速度,等加速度直線運動,落体			
学		の運動(自由落下,鉛直投射)			
期	第2章 運動の法則	◎力の合成・分解,力のつりあい,運動の法則,摩擦			
		力,浮力			
	第3章 仕事と力学的	◎仕事, 仕事率, 仕事の原理, エネルギー, 力学的エ			
	エネルギー	ネルギー保存則			

学習方法

授業第一主義の自覚を持ち、物理的な事物・現象に対する概念や法則を暗記するのではなく、理解することに重点を置く。また、毎時間後の復習を徹底し、理解を深める努力をすること。

評価方法

考査評価 7~8割(定期考査・課題考査),平常点評価 2~3割(課題,提出物,授業態度等)で総合的に評価し,100点満点で評点を算出するとともに5段階で評定を決定する。